



## 【戦評シート】

平成 17年 5月 3日(火)	協会名： 能代市 バスケットボール協会
場 所：能代市総合体育館	記入者：松橋 亨
チームA 市立船橋 103	チームB 新潟商業 71

スターター	チームA： 4, 6, 9, 10, 16	チームB： 4, 5, 10, 11, 12
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン( ) その他( )	チームB： マンツーマン ゾーン( ) その他( )

両チームともマンツーマンで試合がスタート。試合序盤点数の入れ合いが続いたが、3分過ぎに市立船橋 中村のゴール下シュート、久保のカットインシュートなど4本連続でシュートが決まり5分過ぎには15 - 4と市立船橋が試合の主導権を握る。その後、市立船橋は先発メンバー5人を総入れかえするも戦力は衰えることなく第1Qは、24 - 17の7点リードで終了。

第2Qは、新潟商業 西方の3ポイントが決まってスタート。しかし、市立船橋は神のジャンプシュートや 梁瀬の速攻などが相次いで決まり、3分過ぎには32 - 20と12点のリードを奪う。その後も 中村がゴール下を支配し、久保のカットインなど確率の高いシュートで加点。一方、新潟商業も7分過ぎに 田中がジャンプシュートや3ポイントシュートを立て続けに決め一人気を吐くが、市立船橋が47 - 31の16点リードで前半終了。

第3Qは、序盤から中盤まで一進一退が続く。新潟商業は 芳賀がゴール下をがんばり、一方、市立船橋も 神がゴール下でファイトあふれるプレーを見せる。しかし、終盤市立船橋 梁瀬が3ポイントや速攻を立て続けに決め、70 - 51と市立船橋がリードを広げて終了。

第4Qは、序盤から市立船橋の各選手がまんべんなく得点し、試合の大勢がほぼ決まった。新潟商業は キャプテンの坂上がこのピリオドだけで12点と一人気を吐いたが、試合終了前にも市立船橋 梁瀬が3ポイントやジャンプシュートを確実に決め、103 - 71で市立船橋が快勝した。

試合全体を見てみると、両チームともディフェンスは終始マンツーマンディフェンス。ただ、オフェンス・ディフェンスのリバウンドを圧倒的に支配し、カットインシュートやゴール下でのジャンプシュートなどを確実に決めた市立船橋に軍配があがった。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。